

えびの

市議会
だより

第132号

令和4年4月20日

Ebino City Assembly Report 2022/4/20 Vol.132

桜まつり

6月定例会は

5月27日(金)

開会予定

八幡丘公園の夜桜

編集／議会広報特別委員会

発行／えびの市議会

当初予算です

出

一般会計当初予算 140億5,735万1千円

令和4年度から今後8年間「第6次えびの市総合計画」がスタートします。

えびの市が目指す将来像として、「えがおが交わり続けるまち—南九州の交流拠点都市」を掲げ、4つの基本目標（えがお・まじわり・つづける・まち）を作成し、これに基づき本年度から歳出予算が組まれています。

労働費

1千233万9千円

予備費

3千146万4千円

民生費

46億1千144万4千円

総務費

25億9千626万7千円

つづける【教育】

5億3,050万円…31事業

★主な事業

●学校教育の充実

飯野高等学校支援事業 ……………1,552万7千円

●生涯にわたる学びの支援と文化・スポーツ振興

永山運動公園整備事業 ……………1億2,670万4千円

●生涯にわたる学びの支援と文化・スポーツ振興

スポーツ協会運営補助事業 ……………728万3千円

など

まち【市民協働・行政経営】

12億306万3千円…51事業

★主な事業

●市民協働によるまちづくり

自治公民館整備事業 ……………100万円

●安心安全の確保

消防団運営事業 ……………6,734万8千円

●効率・効果的な財政運営

わかりやすい予算書の作成 ……………69万6千円

など



みなほちゃん

令和4年度

歳

えがお【市民生活】

12億2,556万円…45事業

★主な事業

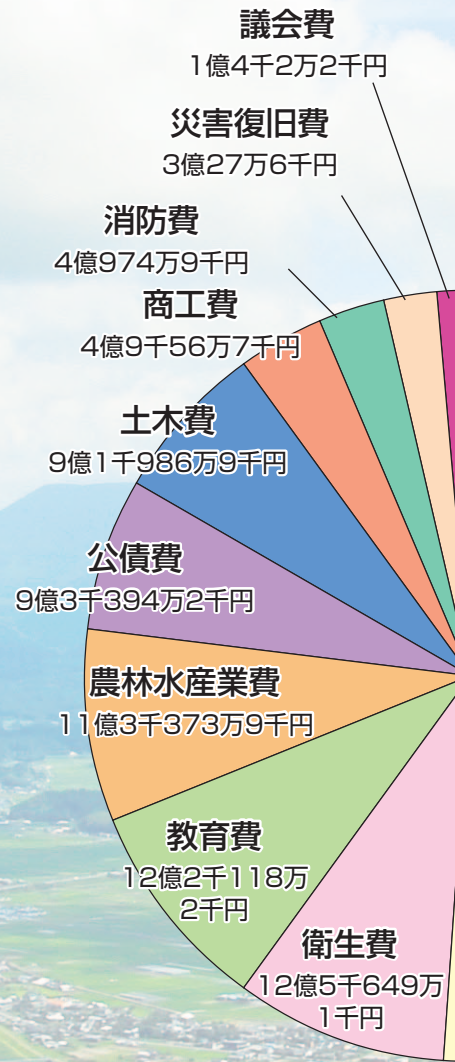
- 子育てしやすい環境づくり
第3子以降保育料無料化事業……………978万円
- 地域福祉の充実
障害福祉サービス事業……………5億5,214万4千円
- 健康づくりの推進
スマートウエルネスシティ推進事業……………423万3千円
など

まじわり【産業・インフラ】

19億4,372万8千円…52事業

★主な事業

- 観光商工業の活性化
起業家支援事業……………1,542万1千円
- 企業立地の推進
企業立地対策事業……………1,597万2千円
- 農業・畜産の活性化
畜産振興事業費……………1億1,004万8千円
など



【ちょっと気になる予算】

- 中学校給食無償化
学校給食費負担軽減補助金……………2,256万1千円



3月定例会概要

令和4年3月定例会は、2月25日から3月22日までの26日間開催し、議案29件、修正案1件、報告4件、諮問1件、陳情1件、請願1件について、慎重に審議を行いました。主な議案についてご報告致します。

◇議案第4号◇

第6次えびの市総合計画基本構想及び基本計画の策定について

本市の長期的なまちづくりの基本とするため、「第5次えびの市総合計画」に引き続き総合的かつ計画的な行政の運営を図るための指針として、令和4年度から令和11年度を計画期間とする「第6次えびの市総合計画」に係る基本構想及び基本計画を策定しました。
詳細は、9頁をご覧ください。

この議案に対し反対の討論がありました。

◇議案第7号◇

えびの市自治基本条例の一部改正について

少子高齢化が進展する中、協働のまちづくりの推進に重要な役割を担っている自治会及びまちづくり協議会の定義並びに役割を明確化することにより、地域の自治の推進を図るため、えびの市自治基本条例の一部を改正します。
詳細は、5頁をご覧ください。

この議案に対し反対の討論がありました。

◇議案第9号◇

えびの市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

行政事務の円滑な連絡のため、自治会ごとに選出された者を行政事務連絡員として委嘱していますが、行政協力員への名称変更及び業務量増加に伴う報酬額を改定するため、えびの市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正します。
詳細は、6頁をご覧ください。

この議案に対し反対の討論がありました。

◇議案第23号◇

令和4年度えびの市一般会計予算について

令和4年度えびの市一般会計予算の歳入歳出の総額はそれぞれ140億8,800万円で、対前年度比1億1千万円、0.8%の増となりました。財源割合としまして、自主財源が35.7%、依存財源が64.3%となっております。
詳細は、9～11頁をご覧ください。

この議案については、令和4年度予算等審査特別委員会で、原案から減額する修正案が決まりましたので、本会議において修正された案が報告されました。修正案、原案ともに反対・賛成の討論があり、採決の結果、修正案が可決されました。

原案から減額修正するのは、【歳出】(款)総務費(項)総務管理費(目)市民協働推進費(細目)ぶらいど21事業費35,029千円のうち、えびの市ぶらいど21助成対象施設整備(住民参加型まちづくりファンド支援事業)に該当する30,649千円を減額しました。これに伴い、関係する【歳入】の部分についても減額しました。

修正案可決により、令和4年度えびの市一般会計予算の歳入歳出の総額はそれぞれ14,057,351千円となりました。

総務教育 常任委員会 報告

3月定例会で付託された議案10件の審査を行いました。審査の結果、議案第6号・議案第7号は賛成多数で可決、議案第6号は賛成多数で可決、議案第7号は可否同数となったため、委員長において可否を採決し、可決すべきものと決まりました。その他、議案8件は全会一致で原案のとおり決まりました。主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

議案第6号 えびの市職員の育児休業等に関する条例の制定について

これまで非常勤職員、臨時的に任用される職員は、育児休業を取れませんでしたが。今回の大幅な改正に伴い、育児休業・育児短時間勤務・部分休業の各制度について、対象職員・対象期間、請求手続き、給与等、この制度がどのように変わったのか具体的に示し、育児休業の取得促進につなげていきたいとのことです。

議案第7号 えびの市自治基本条例の一部改正について

少子高齢化が進展する中、協働のまちづくりの推進に重要な役割を担っている自治会とまちづくり協議会の定義及び役割等を条例に明確に規定するものです。

【自治会となった経緯】

平成25年4月1日から、市から

の広報配布・市からの調査・市との調整等の行政事務連絡を担ってきた区と、自主的なまちづくり活動で各種学習会・講座・伝統行事等の自治活動を担っていた自治公民館とが1つになり自治会となった（現在64自治会）。

まちづくり協議会は、今後、人口減少・高齢化が進み、各自治会単独運営が難しくなることが懸念され、自治会同士の連携や行政との協働の取組が必要と考え、自治会への移行タイミングと合わせて、地域の活性化や課題解決のために新たな自治組織の設立を呼び掛けてきた。（平成25年に真幸地区、平成27年に加久藤地区、平成28年に飯野地区、平成30年に上江地区）現在4組織が地域の各コミュニティセンターを拠点に活動している。

【条例改正に至った経緯】

令和3年2月5日 市長と自治会連合会4役との協議。（今後の自治会のあり方について意見交換）自治会連合会で検討委員会を立ち上げ（連合会5役を含む自治会長11名と自治会長と兼務の1名を除くまちづくり協議会の会長3名の合計14名で構成）、5月から11月まで自治基本条例の見直し等について改正案を検討。（計6回・市民協働課も会議出席）検討委員会での途中経過は、随時、自治会連合会会長から全自治会長に報告。

検討委員会の検討が終了し、令和3年12月2日『えびの市自治会及びまちづくり協議会の条例化等に向けての要望書』提出。要望書を受けて、12月庁議、令和4年1月14日に自治推進委員会を開催。

1月17日から2月7日までパブリックコメント実施。

今回の改正により、全ての自治会及びまちづくり協議会が自らの基本的役割を把握し、自主的で主体的な自治活動につなげるとともに、市民と市が自治会・まちづくり協議会の基本的な役割等について共通認識を持ち、連携・協力を深めることで、協働のまちづくりの更なる推進を図り、地域の活性化につなげていきたいと考えているとのことでした。

Q 現在の自治会加入状況は。

A 現住人口の世帯数が8,078世帯で、うち加入世帯数は6,438世帯／79.7%（令和3年4月1日現在）。

Q この時期に条例改正しなければならぬ理由は。

A 自治会の代表者で構成される自治会連合会は市民代表の方々であり、その自治会連合会からの要望を重く受け止め、改正する必要があると認めたため。

**議案第9号 えびの市特別職の職員
で非常勤のものの報酬及び費用弁償
に関する条例の一部改正について**

行政事務の円滑な連絡のため、自治会ごとに選出され委嘱している行政事務連絡員を行政協力員へ名称変更し、併せて、業務量増加に伴う報酬額を改定するものです。（前回の報酬改正は平成8年で、約25年経過している）

【条例改正に至った経緯】

※議案第7号同様です。

Q 均等割額月額20,100円から30,000円に改正する増額9,900円の根拠は。

A えびの市行政事務連絡に関する規則に基づく依頼業務構成となっている。

〈第1号〉行政事務に係る文書等の回覧及び配布に関すること。〈第2号〉国、県、市、その他の地方公共団体から依頼された各種調査及び報告に関すること。〈第3号〉その他行政事務に関すること。市長が認めるもの。増加率は、第1号が39.29%、第2号が75%、第3号が66.67%、平均55.18%（これとは別に、えびの市社会福祉協議会や農協等

の他団体からの文書業務32件は増加率に含まれていない）。

**議案第22号 令和3年度えびの市
病院事業会計予算の補正(第3号)に
ついて**

Q 外来収益 3,185万2千円の減額の要因は。

A 当初予算の見込み人数よりも決算の人数が少なかった。

新型コロナウイルスの関係で外来受診控えもあるが、やはり人口減少が大きく影響していると考えられる。

また収益は、様々な検査や処置、手術等で大きく点数が上がることで収益も上がる。しかし、患者さんが少なくなると、その収益も落ちるため、大きな要因になっている。

**議案第28号 令和4年度えびの市
水道事業会計予算について**

Q 水道施設台帳を作成する目的と委託する理由は。

A 令和元年に改定された水道法の中で、各自治体全て水道台帳を整備することが公布され、令和4年9月までに整理・設置をするよう任期が定められている。

各施設、浄水場、ポンプ施設等があるが、この機械設備等の調

査は専門的な知識が必要なため委託を行う。

Q 漏水調査委託業務の今回の調査地域は。

A 今年度は市内全域での漏水調査は計画していない。柿

木原減圧井水系で使用料の多い飯野地区の町部と、真幸地区の真幸配水池で調査を考えている。漏水処理は、今後、年次的に計画性を持って進めたい。

**議案第29号 令和4年度えびの市
病院事業会計予算について**

Q ふるさと外来について。

A 現在は市外の病院に勤務されており、新型コロナウイルス感染症の最前線で医療に従事されているので、新型コロナウイルスが落ち着いた頃に、非常勤医師として派遣していただくことになっている。

〔反対討論〕
《議案第6号 えびの市職員の育児休業等に関する条例の制定について》

趣旨については賛成しているが、えびの市の作る条例は、行政文書

とはいえ分かりやすいものであるべきだと考えている。

《議案第7号 えびの市自治基本条例の一部改正について》

えびの市自治基本条例は非常に重要な最高規範なのに、あまり時間をかけておらず、また手続きもかなり不明瞭なところがあり、まだ議論が熟していない。この改正案が仮に可決されることで、他の自治組織が存在するにも関わらず、その多くの自治組織をこの条例から外すことで大きな弊害が出てくる。これまで活躍出来ていた市民や団体をこの条例の外側に置いて阻害してしまう。

まちづくり協議会は様々な団体が入るように規約ではなっているが、現状把握では、特定の業務に集中し、人員が非常に少ないという意見を実際に伺っている。今回、条例が改正され明文化することによって、活動の制約がおきてしまうのではないかと懸念している。

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美

産業厚生 常任委員会 報告

3月定例会において、当委員会に付託された議案13件・陳情1件・請願1件の審査を行いました。審査の結果、陳情第2号に討論があり、採決の結果全会一致で、議案13件・陳情1件は原案のとおり決まりました。請願1件は継続審査と決まりました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

議案第5号 財産の処分について

白鳥森林公園内にある管理棟など4施設を、地元自治会を中心とする特定非営利活動法人に対し、無償譲渡を行うものです。

Q 建物自体は既存の物を譲渡されるのか、それとも更地にして譲渡されるのか。

A 施設については、現在の状態のまま譲渡する。

Q 白鳥神社のトイレは譲渡後に改修するのか。

A 譲渡を受けた団体の方で補助金や給付金を受けて、改修したいという意向を聞いている。

Q キャンプ場跡の老朽施設撤去等は、譲渡された後に撤去されるのか。

A 管理棟横のトイレや、キャンプ場内の炊飯施設とトイレ等は団体の方で撤去したいとの意向を示している。

Q 譲渡した土地はどうなるのか。

A 周辺がほぼ神社敷と国有林であり、譲渡を認めて頂ければ、国との手続きを経て最終的な譲渡の契約が成立する。

Q 残余財産の帰属は法人が解散した時、残存する財産はえびの市に譲渡するとの複雑な手続きを経て譲渡するが、法人が解散した時、また同様の手続きで市へ譲渡されるのか。

A 公的な目的で作られた施設で、譲渡を受けたNPO

O団体が、NPOとしての活動目的が達成できないと、市に戻していただくことも想定される。

議案第11号 えびの市企業立地促進条例の一部改正について

市内において工場等を新設または増設した者に対して、新規雇用者の要件を見直すため、えびの市企業立地促進条例の一部を改正するものです。

Q えびの市の現状として、寮や住居などの受け入れ体制は整っているのか。

A 今のところ、寮などの相談はないが、労働力の確保として外国人実習生などを受け入れる場合は、市営住宅や定住促進住宅の活用を考えている。また今後、企業誘致が進めば、アパートなどの民間活力も期待したいと考えている。

Q 現在ある住居、移住の相談窓口と企業立地課との連携、申請、相談等は適切な対応が出来るのか。

A 空き家バンク等も紹介した中で対応し、企業の担当者と

調整している。

陳情第2号 京町自治会内の市道の道路改良及び側溝整備に関する陳情書

Q 陳情の市道3路線、担当課は道路改良と側溝整備について地元との協議はしたのか。

A 京町28号線の側溝整備については維持工事とし、改良工事や全体的な舗装工事は、多額の費用を要するので、現在のところでは維持工事のみで対応をしていく。

【賛成討論】

陳情に上がっている3路線の道路改良及び側溝整備については、道路新設から50年以上経ち老朽化している現状は理解している。これまでの経緯や主旨を考慮した上で、まずは出来ることから、やっていただきたい。執行部の説明でも、令和4年度に維持工事に取り掛かるということ、また京町地区の浸水を全体的に考慮して地元と協議していくということなので、中期的な計画を立てて進めてほしい。

産業厚生常任委員会

委員長 吉留 優二

令和3年度 予算審査 特別委員会 報告

3月定例会において当委員会に付託されました議案1件について審査を行いました。審査の結果、討論はなく、全会一致で原案のとおり決まりました。以下、議案の審査内容について報告致します。

議案第17号 令和3年度えびの市 一般会計予算の補正(第17号)に ついて

【総務費】

ぶらいど21事業費

△732万円

Q 事業費732万円の減額になった理由は。

A 当初は、継続が1件と、新規の3件および住民参加型まちづくり事業、ハード事業が予定されていたが、実際は、新規1件のみの申請となって今回減額となった。

生活路線運行費補助金

△325万7千円

Q えびの市、宮崎市間の路線バスの便数が少ないので、増便することはできないか。

A 毎年、公共交通に関して、県・事業者並びに関係機関等での会議をするので、引き続き地域の声を伝えていく。

Q 補助金の減額になった要因は。

A 令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う県の補助額が追加されたことにより、えびの市の負担が減額になった。

【民生費】

子ども・子育て支援事業費

△4,655万6千円

Q 子ども・子育て支援事業費で約4,700万円の残金の理由は。

A 当初の児童の見込みと、実際の数に差が出たことが理由である。被用者の3歳未満について、50人程度の減となっており、転出についても若干の移動があり、結果的に差が出た。

【衛生費】

妊産婦支援助成金

△200万円

Q 現時点での、新生児の出生予定数は何人か。

A 令和3年度の出生予定数は74名となっている。

【農林水産業費】

葉たばこ作付転換円滑化
緊急対策事業補助金

263万円

Q 葉たばこからの作付転換として、何の作物に変えられるのか。

A 新たに甘藷に取り組む。

地籍調査事業費

5,992万8千円

Q 地籍調査の進捗はどの程度まで進むのか。

A 令和3年度現地調査分が完了すれば、58・69%の予定である。

【商工費】

白鳥温泉施設管理業務委託料

875万6千円

Q 新型コロナに伴う休業要請で、売り上げ実績不足

分相当を補填するとなっているが、規約に入っているのか。

A 当初の使用協定書には、具体的な表記はないが、休業要請をしたこともあり、予算の範囲内で、最終的な決算を見て、下回る部分を補償していく。

【教育費】

文化振興事業費

△471万2千円

Q 補正で471万2千円の減額になり、最終予算が760万8千円になっている。これだけ減額されて、文化振興の大切な事業はできたのか。

A 減額の内訳として、一番大きい原因が、自主文化事業の委託料300万円になる。コロナの影響で事業の全てが開催は叶わなかった。

予算審査特別委員会

委員長 中山 義彦

令和4年度 予算等審査 特別委員会 報告

3月定例会において、当委員会に付託されました議案2件について審査を行いました。審査の結果、議案第4号は反対の討論があり、挙手による採決の結果、賛成多数で原案のとおり決まりました。議案第23号は、委員から修正議案が提出されました。その内容は、えびの市ぷらいど21助成金の中の施設整備費3,064万9千円を減額修正するものです。質疑の後、修正議案に反対の討論と賛成の討論があり、挙手による採決の結果、賛成多数で修正案のとおり決まりました。次に、可決された修正部分を除く原案については、挙手による採決の結果、賛成多数で修正部分を除いた原案は可決するものと決まりました。

議案第4号 第6次えびの市総合計画
基本構想及び基本計画の策定について

【序論】

Q 2045年にえびの市の人口が1万人を下回った時にどういふ事態が想定されるか。

A 年齢構造上の高齢化率、老年人口、生産年齢人口、年少人口の比率による行政資源が少なくなってくることや、現在民間資本で提供しているサービスの縮小が予想されることが懸念される。現在のサービスの確保が重要である。

Q 地域商社というものは何か。

A 民間セクター活動の縮小が予想されており、行政が丸々カバーできないことが想定されるので、それに代わって地域の産物を販路改革によりシティセールスしていく新たな施策である。

【基本施策】

観光工業の活性化

Q 観光資源を活かす施策を具体的に示せ。

A 観光資源の磨き上げや観光情報等の提供も、観光協会・各種団体組織で目指しており、アウトドアシティの事業の展開を図り、将来的には、民間への移行も出

てくる。

安全で安心な水道水の安定供給

Q 令和7年度から水道事業については黒字化ができるのか。

A 令和7年度以降あるいは早ければ令和6年度決算で黒字化できるものと考えている。

学校教育の充実

Q コミュニティ・スクールはえびの市独自として推進するのか。

A 全ての学校に学校運営協議会を設置して、学校と家庭、地域住民と連携を取った事業を充実させていく。

市民協働によるまちづくりの推進

Q 64自治会をこのままの数で維持していくのか、統廃合を議論をしていくのか。

A 当面は64を維持という事考えているが、統廃合の問題については、自治会連合会の方で各自自治会との合意形成のもと、調査・検討がなされていく。

市に関する総合的な企画立案

Q J R吉都線とJ R肥薩線の存在について、現在の状況は。

A 毎年、吉都線利用促進協議会を通じて要望活動を行い、関係市町また宮崎県、国土交通省等々と連携を図りながら進めている。

J R肥薩線に関しては、決起集会等で地域の声を国、J R九州に伝えていく。

議案第23号 令和4年度えびの市一般会計予算について

【商工費】

起業家支援事業費

1, 542万1千円

Q 事業承継支援業務委託は今年度から他の自治体の活動や事業を参照して取り入れたのか。

A 県内の高原町、鹿児島県の大崎町の先行自治体の情報をもとに今回新規として予算を計上した。

新型コロナウイルス感染症対策費

4, 365万9千円

Q プレミアム付商品券で、3種類作る理由は。

A 地元にある事業者大きな影響を受けている飲食店への応援券を設定した。6月くらいには販売が出来るかと考えている。

アウトドアシティ推進事業費

2, 479万6千円

Q アウトドアビクターセンターの管理は費用対効果から見て直営でやった方がよいと思うが。

A 意見等も参考にしながら検討する。

白鳥温泉施設管理費

1, 369万円

Q 休館の上湯の管理費も含まれているのか。

A 上湯の管理についても最低限の費用は必要になるため、この指定管理料の中に含まれている。

【衛生費】

スマートウエルネスシティ推進事業費
423万3千円

Q 市民意識調査業務委託料で、今回は何名をアンケートの対象とし、対象とする方はどのように選ぶのか。

A 対象者は2, 000名を予定しており、生活圏域4地区の中で均等に40代、50代、60代と年代別で抽出する予定である。

新型コロナウイルスワクチン接種事業費

9, 529万8千円

Q コールセンター業務は、接種の扱いはどういう形になるのか。

A 厚労省通知では、令和4年9月末までの事業となっており。委託も9月末までの契約になるので不用額については減額する。

【民生費】

老人福祉センター運営事業費
1, 051万8千円

Q 老人福祉センターの利用状況は。

A 令和2年の実績で、1万2, 180人の方が利用している。

【教育費】

学校規模適正化調査検討委員会委員報酬金
7万7千円

Q 委員会でも、学校の統廃合等も含めて検討されるのか。

A 最終的には、統合のことも含めた検討になってくると思われる。

小学校施設維持補修費・工事請負費

5, 834万1千円

Q 学校のトイレ改修の具体的な内容は。

A 全て洋式に変えるということと、床の乾式化として、ほとんどの学校のタイル張りにシートを張る改修を行う。

【農林水産業費】

園芸産地強化対策事業補助金
826万5千円

Q 甘藷の基ぐされ病のえびの市内での状況は。

A 本年度はえびので1件発生が確認されており、ウイルス感染しないように努めていく。

貸付家畜購入費

7, 070万円

Q 貸付家畜購入の本年度の予定は何頭か。

A 令和4年度計画では、雌肥育牛の70万円上限の貸付が56頭、肥育牛の50万円までの貸付が21頭となっている。

【消防費】

消防団運営事業費
6, 734万8千円

Q 団員の確保等は、この報酬で確保されると思われるか。

A 国で検討会が設置され議論がされたもので、処遇改善と併せて団員の確保をしていく。
災害予防対策事業費
1, 920万3千円

Q 出産時に必要な備品を準備して、緊急体制を普段から備えておく必要があるのでは。

A 万一に備えては、幅広く計画的に備蓄品の整備を行っていく。

【土木費】

住宅管理費
2, 475万2千円

Q 現在、入居のない市営住宅はどれぐらい残っているのか。

A 現在入居を受け付けていない団地は、市営団地10団地の内81戸が空き家となっており、入居可能な住戸は154戸となっている。

【災害復旧費】

過年度発生農地・農業用施設災害復旧費
3, 517万7千円

Q 過年度分の5ヶ所を先送りとした理由はなにか。

A 県との河川協議が終っていないため、過年災として令和4年度に執行する予定である。

【総務費】

ぶらいど21事業費

3,509万5千円

この事業に関しては、担当課からの説明（計2回）では、委員の十分な理解を得られず、委員会への市長の出席を求め、説明を受けて審査しました。その後、再度、市長から補足説明がしたいとの申し入れがあり、説明を受けました。

Q この事業はえびの市の要綱に準じて行うのか。

A えびの市ぶらいど21市民団体活動助成金交付要綱に基づいて助成をするもので、今回の予算の審議を経て、要綱改正を考えている。

Q 最大助成金額の具体的な数値はいくらか。

A 市民団体から見積で金額を教えてもらい、それと比較して拠出金の残額3,064万9千円の予算を上げている。

Q 相談があった団体からの事業内容は、要綱の4つのどれに当てはまるのか。

A 文化財周辺整備等で、現行では助成限度額が500万になっている。

Q 今回の3,502万9千円はハード事業のみの計上か。

A ハードの住民参加型まちづくり事業は3,064万9千円となっている。

Q この事業が終わった後、行政として、今後どのように地元団体と関わっていくのか。

A 財産が地元に移れば、管理は地元でしていく事になり、この施設に関してえびの市が管理費等の金を出していくことは今のところ考えていない。

Q 現行のぶらいど21のルールを今回の案件の為に勝手に変え、しかも今まで要綱で500万円が上限だったものを3,000万円以上使うという事はいかなるものかと思っている。補正予算で再度上げなおした方が良いのではないか。

A 令和4年度末での事業完了という期間の中で、補正での対応だと、工事期間が狭まってくるので当初予算での計上になった。なお、団体は特定非営利活動法人・えびの白鳥地域森林・歴史・文化等を保存伝承する会である。審査会を5月の中旬に予定しており、審査が終って交付団体を決定したら、交付決定を5月下旬に行い、補助金の交付申請は6月上旬ぐらいと考えている。

なお、議決の前に公募するのはおかしいという意見があったので、議会終了後に公募に取り掛かるようにした。

〔市長からの申し入れの際の説明（2回目）〕

新年度予算が可決すれば、現在の要綱を変えて予算、募集審査をしていくという事で説明したが、この案件は上限500万という事にして、他の募集等も続けていく。

すべきではないか。

A 新年度予算については、すでに本会議で委員会への付託が決まって、審査をしているので、現時点で取り下げるとい根拠はない。

【修正案提案理由】

市長及び担当課より、これまでの要綱の500万円の上限額を、一事業対象項目のみで、ハード事業として基金残額のほぼ全額に近い3,000万円に引き上げるとの説明があった。この事業に関しては、団体より申請があり審査を経て決定されるもので、予算計上の時点から、ある事業のみを優遇するような説明を受け、その後、市長から、議会の意見を踏襲する形で要綱は変更せず、もとの要綱のまま予算執行に努めたいとの説明があったが、二転三転と説明が変更され続けるこの予算は納得できない。

令和4年度予算等審査特別委員会

委員長 中山 義彦

ロシア軍のウクライナ侵略に強く抗議し、 恒久平和を求める決議

世界中が新型コロナウイルス感染症への対応に追われている中、ロシア軍は2月24日、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの全面的な侵攻を開始した。さらにその後、民間人を含め多数の犠牲者を出し続けている。これは、明らかに国連憲章に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かす侵略であり、断じて容認できない暴挙である。

よって、本市議会は、ロシア軍による攻撃とウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止とウクライナ領土から直ちにすべての軍隊を完全に撤退させること及び誠実に国際法を遵守し、世界の恒久平和の実現に向け対応することを強く求めるものである。また、政府においては、国際社会と連携し、あらゆる外交手段を駆使しながら、邦人の確実な保護や我が国への影響対策について万全を尽くされるよう強く求める。以上、決議する。

令和4年3月14日

宮崎県えびの市議会



一般質問にあるQRコードは何？



〇〇 〇〇

議員



このQRコードを読み取ると
各議員の一般質問の動画を
観ることができます。



一般質問

畜産農政課長 地域の合意形成による「人・農地プラン」を進める事業があるのか。

質問 耕作放棄地・荒廃地・遊休農地は固定費の負担増で農業経営を圧迫する現在、取り組んでいる事業があるのか。



朽ち果てていく山間地の農地

畜産農政課長 地域の合意形成による「人・農地プラン」を進める事業があるのか。

質問 耕作放棄地・遊休農地は固定費の負担増で農業経営を圧迫する現在、取り組んでいる事業があるのか。

基地防災対策課 移動式電源として導入する自治体が増えている。



改修要望が出ている金丸川

質問 2020年農林業センサスによると、基幹的農業従事者は2020年に約136万人となり、5年前と比較し約40万人減じた。本市の基幹的農業従事者の現状は。

畜産農政課長 基幹的農業従事者は1,353人である。

市長 農業に関わらず生産人口が少なくなってきた。全体的に危機感を感じている。特に大規模化、AI化であったり、また新規就農者、若手の育成は大きな課題であり、しっかり進めていく。

質問 農業公社設立の真意は。

市長 農業や観光面も含め現在副市長始め各課の課長が先進地の研修を行っている。総合的な機能を持った組織をつくっていく。



田口 正英
議員



ている。地域の中心となる担い手を明確にし、中間管理事業による土地の集積・集約を進め引き続き耕作放棄地や遊休農地が発生しないためにも農地の有効活用をし担い手への集積を進めていく。

質問 宮崎県立小林こすもす支援学校の現状について伺う。

教育長 県教育委員会に確認し、



遠目塚 文美
議員



新年度教室不足のため、小学部高学年が高等部へ移動すると把握した。異学部で学ぶ教育的効果のねらいもある。今後も県教と情報交換し、小・中学校と連携を図る。

質問 産前産後サポート拡充のため、保健師・助産師の増員は。

市長 役割は大きくなっている。早めの人材確保が重要だと考える。

質問 ハラスメント条例制定は。

総務課長 他自治体の状況や庁内の現状を把握し、検討したい。

質問 災害時に備えて、公用車に電気自動車を導入する考えは。

建設課長 慎重な計画が必要なため、離合箇所設置等含めて、関係機関と地元との協議から始める。

質問 金丸川護岸整備について。

建設課長 市河川であり、県の砂防指定河川でもあるため、未整備区間は県の砂防事業で要望。

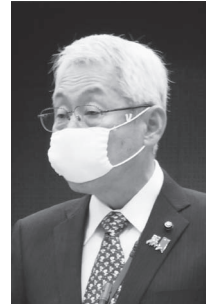
平時や災害時の利用方法や導入状況の調査・研究から始めたい。

質問 地元から要望のある、市道八幡線の道路拡幅について。

well-beingなまちづくり

※一般質問の際のマスクの着用については、えびの市議会では議場で3密対策をとっているため、各議員の判断にゆだねています。

普通財産の売払いは適切だったか



阿部 哲己
議員



定めた課等の長が処分できる。

質問 決裁した文書はあるか。

観光商工課長 庁議の報告書を

市長が決裁したものがあある。

質問 普通財産として譲渡を受

質問 昨年末に、えびの高原の「フットプラザりんどう」の建物売却公募が平日9日間の短期間で行われており驚いた。高額で買い取る相手先を探すために、市長はこの日程で十分だと考えるか。

市長 公募期間は長い方がよいと思う。しかし4月からの営業間に合うよう環境省との協議期間を確保するため短い期間となった。

質問 えびの市公有財産取扱規則では、「普通財産の管理及び処分は、財産管理課長が行うものとする」と定められている。この案件は観光商工課長が売却をしているが、規則違反ではないか。

観光商工課長 この施設は譲渡当初から観光商工課が管理していた。市長が定めたものは、市長が



えびの高原フットプラザりんどう

けた時点では、取扱規則に基づき財産管理課長の所管である。それを観光商工課に所管換えを行う場合は、文書で行うべきだがどうか。

市長 当初から所管換えはない。

プレミアム付商品券事業について



川野 亮
議員



う。

観光商工課長 電子決済システ

ム、キャッシュレスサービスについては、他自治体で実施している所もあるので出来ない事はない。

質問 今後、プレミアム付商品券事業を電子決済システムへの検討を提案するが。

質問 昨年12月発売したプレミアム付商品券の実績を問う。

観光商工課長 6,500円分を5,000円にて販売。発行冊数18,000冊で17,866冊販売（134冊分はキャンセル）で総額8,933万円であった。

質問 事業に係る経費を問う。

観光商工課長 昨年夏の第1回商品券発行事業の事務経費として、608万982円支出している。

質問 発行分の換金率を問う。

観光商工課長 第一回の実績としては、99.6%である。

質問 事務量軽減、経費削減、ペーパーレス化等できるプレミアム付電子決済システムを提案するが、導入すること自体は可能か問



観光商工課長 電子決済システムは色々な事を含めてメリット、デメリットを検討しながら、導入するかどうか判断していかねばならない。

一般質問

市長 飯野地区は、定住先としてニーズが多い。定住策を充実することで住む方が増えると思う。

質問 飯野駅周辺に店舗を開いても良いという事業者への支援は、**企画課長** 地域活性化を進める調整については市が間に入ることはあると思っている。



定住促進のためのまちづくりを



中山 義彦
議員



東部地区再開発を大胆に進めよ！

質問 東部地区再開発について、数年来、自治会・まちづくり協議会の有志と協議を進めており、スマートインターの必要性も含めて、市のビジョンはあるか。

市長 スマートインターを含めて具体的なものはない。

質問 教育施設、医療施設等の各種施設が集約された飯野町区・麓地区に地区公園を整備して、定住の促進を加速化できないか。

質問 京町及び加久藤地区の豪雨による冠水対策の取組みは、**建設課長** 京町地区については国へ要望している。加久藤前松原地区は、排水の状況把握の監視カメラ設置の要望をしており、原因を調査して、排水対策を国と行う。

質問 グランドゴルフの新設は、**市長** 河川敷を独自で利用していた場所が豪雨による被害にあったことの確認はしている。

市民が安心できる救急医療体制を！



松窪 ミツエ
議員



質問 えびの市立病院は第二次救急告示病院として救急医療を担っているが、救急患者の受入れや対処に不服や不安の声がある。これを解消するために、第二次救急告示病院について、市民の認識と理解への対応が必要ではないか。

市長 救急病院として対応ができない部分は当然であるので、患者さんが「断られた」というような感覚にならないよう告知の仕方、今後を勉強していく。病院事務長、健康保険課長には改めて指示をする。

質問 産業団地について、複数の企業と事前協議を進めてきていた。今回、立地する企業に最終的な判断をしてもらうとの説明があったが、売買する土地の広さは

どれくらいになるものか。

市長 企業の希望する土地が重なり整理をしていくが、今回、全ての区画に企業の立地が決まるわけではない。引き続きしっかりと企業誘致を進めていく。

質問 庁舎の昼食は消灯のため薄暗い環境だが、改善の考えは、**財産管理課長** 節電は職員の自主的な行為であり規則はない。

市長 健康に配慮してもらおう。



447トンネル開通時の周辺環境



栗下 政雄
議員



質問 市長は調整交付金の増額を、どのように考えているのか。

市長 霧島演習場での訓練を頻繁に行う所と、調整交付金を受け取っている自治体の首長で毎年、調整交付金の拡充を陳情しているところである。

質問 市立病院にMRI等の機材を防衛事業で導入する方法があると思うが、職員を九州防衛局に勉強に行かせる考えはないか。

市長 調整交付金事業は、演習場周辺の市道整備を考えている。病院設備等の導入は因果関係がむずかしい。

質問 霧島演習場大畑地区での演習中、過去、落雷により7〜8名の隊員がえびの市立病院に運び込まれた事実がある。このような

事実を因果関係として申請すれば、防衛事業として認めて頂けるのではないか。

質問 国道447号線内堅大口開通問題について、開通までに道路周辺環境整備として、周辺には春は花、秋には紅葉の植栽をしたらどうか。

建設課長 小林土木事務所に話をしていく。えびの市も県と協議を進めて取り組む。



トンネル工事中の国道447号線

えびの市の将来はどうなるの？



森 賢治
議員



質問 えびのの将来について、行政改革・財政・人口動態に関して伺う。1990年と2020年の人口の比較は。

企画課長 1990年26,826人、2020年17,634人、この間9,192人減少した。

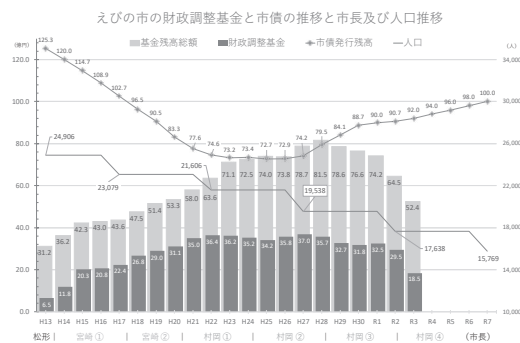
質問 2045年の人口推計は。市長 1万人以下と予想する。

質問 20年後には現在の人口の半分になってしまう。このままでは行政サービスが維持できない。

市債の発行残高は、前宮崎市政において125億円から77億円まで減少したが、村岡市政になり増加し令和3年度に90億円にまで膨れ上がり、第6次総合計画では令和7年度に100億円に迫る計画である。市の貯金といえる財政調整

基金は、37億円から18億円まで減少した。つまり、村岡市政において、借金は20億円増え貯金は20億円減った。人口減が予想されるなか、このままだと生まれた赤ちゃんにも100万円の借金を背負わせてしまう。

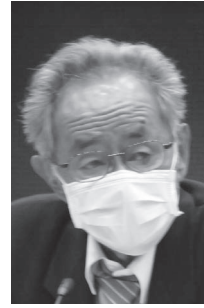
市長 財政状況について、当初予算が組めなくなると財政サービスができなくなる。借金が増えて返せなくなる事態は避けたい。



歴代市長と借金，貯金の推移

一般質問

世界が核兵器禁止条約批准を



西原 政文
議員



質問 ロシアによるウクライナ攻撃は許せない。支援をどう考えているか。

市長 ロシアのウクライナ攻撃は断じて許せない思いであり、地方6団体で2月25日に抗議文書を出した。国際交流センターで募金も行っており、えびの市でもサポートしていきたい。

質問 ウクライナで核兵器使用が心配される報道がある。世界の全ての国が核兵器禁止条約を批准するように行動すべきと考える。

市長 核兵器禁止条約を日本も批准していただきたいと思います。平和首長会議で令和3年11月に批准するよう政府に要望書を出した。

質問 多くの市民から国保税が

高く困っているとの声を聞くが市長に届いているか。

市長 国保税が高いとの声は、多く聞いている。国に対して財源確保を要望している。

質問 西郷霊園から島内の水門までの改修はどこまで進んだか。

農林整備課長 水路のかさ上げを行い、関係者の協力をいただき令和4年度で測量と用地買収を行う。



水害対策が進む西郷霊園付近

自衛隊病院誘致と医官採用を！



吉留 優二
議員



質問 自衛隊病院は、総合病院規模の施設、職員を有し、自衛隊中央病院の他、全国の自衛隊基地に設置されている。医師不足による医療崩壊状況にある地域医療の健全化を図り、医師養成の機関として、自衛隊病院の誘致促進を展開する事が重要だと考えるが市長の見解は。

市長 自衛隊病院誘致は行ってないが情報をつかんで新たに自衛隊病院について勉強をしていく。自衛隊のまちとして有利にはたらく場所があれば相談していく。

質問 へき地医療における医師不足が深刻化する事から、自衛隊病院の医官が地方の公立病院に派遣される例もあり、へき地医療に対する医師供給源としても重要に

なっている。自衛隊熊本病院の医官をはじめ、全国の自衛隊医官または、退官された医官の派遣を要請し、えびの市立病院の医師不足解消の政策として考えるべきだが市長の見解は。

市長 自衛隊を退官された医師の採用については、自衛隊を退官された求人サイトで登録を行っているがマッチングしていない。現役医官については勉強していく。



市立病院に医官の採用を！

令和4年1月臨時会 議案等審議結果表

1. 議案等

付託委員	番号	件名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	松坂	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原(義)	西原(政)	栗下	
	報告第1号	専決処分した令和3年度えびの市一般会計予算の補正(第13号)の承認について	原案承認	/	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議案第1号	令和3年度えびの市一般会計予算の補正(第14号)について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

/:議長は採決に加わらない ○:賛成 ●:反対 一:棄権 欠:欠席

議会傍聴しませんか

えびの市議会では年4回「定例会」を開催します。定例会は約1ヶ月かけて行われ、多くの議案を慎重に審議します。予算の執行状況や現状、今後の方針などについて説明や報告を受けます。このほか市政についての一般質問を行います。

えびの市議会では、公正性及び透明性を確保するために市民に開かれた議会を目指しております。

手続きは本会議当日に、本庁3階の議会事務局で自分の住所・氏名を傍聴申請書に記載するだけで、どなたでも傍聴できます。

ただし、ルールやエチケットは、お守り下さい。

新型コロナウイルス感染症対策のため、検温・手指の消毒・マスク着用にご協力をお願いいたします。



お知らせ

令和3年9月に行われた市議会議員選挙に関し、令和4年2月に当選人1名の当選無効が決定しました。このことにより、現議員数が14名から13名となりました。

また、これを受け議会運営委員会の委員構成が

委員長	西原 政文
副委員長	西原 義文
委員	森 賢治
	阿部 哲己
	小宮 寧子
	松窪 ミツ工

となりました。また産業厚生常任委員会及び議会広報特別委員会の委員がそれぞれ7名から6名となりました。

令和4年3月定例会 議案等審議結果表

1. 議案等

付託委員	番号	件名	審議結果	竹	川	阿	小	吉	中	遠	田	松	西	西	栗
				中	野	部	宮	留	山	塚	達	原	原	下	
	報告第2号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—	※質疑後、終結											
	報告第3号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—												
	報告第4号	専決処分した令和3年度えびの市一般会計予算の補正(第15号)の承認について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	報告第5号	専決処分した令和3年度えびの市一般会計予算の補正(第16号)の承認について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	別段異議はない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第2号	公平委員会の委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第3号	教育委員会の委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度予算等審査特別委員会	議案第4号	第6次えびの市総合計画基本構想及び基本計画の策定について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
産業厚生	議案第5号	財産の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第6号	えびの市職員の育児休業等に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第7号	えびの市自治基本条例の一部改正について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
総務教育	議案第8号	えびの市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第9号	えびの市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
総務教育	議案第10号	えびの市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第11号	えびの市企業立地促進条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第12号	えびの市観光施設条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第13号	えびの市道路占用料条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第14号	えびの市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第15号	市道の路線廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第16号	市道の路線認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度予算審査特別委員会	議案第17号	令和3年度えびの市一般会計予算の補正(第17号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第18号	令和3年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第5号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第19号	令和3年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第20号	令和3年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第4号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

付託委員	番号	件名	審議結果	竹	川	森	阿	小	吉	中	遠	田	松	西	西	栗
				中	野		部	宮	留	山	塚	口	窪	(義)	(政)	下
総務教育	議案第21号	令和3年度えびの市水道事業会計予算の補正(第3号)について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第22号	令和3年度えびの市病院事業会計予算の補正(第3号)について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度 予算等審査 特別委員会	議案第23号	令和4年度えびの市一般会計予算についての修正案	可決	/	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
		令和4年度えびの市一般会計予算について(修正部分を除く原案)	(修正部分を除く)可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
産業厚生	議案第24号	令和4年度えびの市国民健康保険特別会計予算について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第25号	令和4年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第26号	令和4年度えびの市介護保険特別会計予算について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第27号	令和4年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第28号	令和4年度えびの市水道事業会計予算について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第29号	令和4年度えびの市病院事業会計予算について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第30号	令和4年度えびの市一般会計予算の補正(第1号)について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2. 請願・陳情・委員会提出決議案

付託委員	番号	件名	審議結果	竹	川	森	阿	小	吉	中	遠	田	松	西	西	栗
				中	野		部	宮	留	山	塚	口	窪	(義)	(政)	下
産業厚生	陳情第2号	京町自治会内の市道の道路改良及び側溝整備に関する陳情書	採択	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	請願第1号	小規模水道施設整備への補助金交付に関する請願書	継続審査	/												
	委員会提出決議第1号	ロシア軍のウクライナ侵略に強く抗議し、恒久平和を求める決議(案)	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

／:議長は採択に加わらない ○:賛成 ●:反対 -:棄権 欠:欠席



議会広報特別委員会
副委員長 小宮 寧子

広報誌作りを目指しています。市民の皆さまの様々なご意見は、作成の際の参考や励みになります。どうぞお気軽にお声をお寄せください。

さて、昨年9月の改選により、現在広報委員会は、新しい委員構成で議会だよりを作成しています。私達広報委員会は、市民の皆さまに手に取って読んでいただけるような

ただその一方で、この同じ空の下、遠くの下では今この瞬間にも紛争により街が破壊され、罪もない人々が亡くなっているという現実、胸が締め付けられる想いです。一日も早く争いのない平和な日常と、今苦しんでいる人々の幸せを心から祈るばかりです。

4月に入り、朝晩はまだ少し冷えますが、日中は穏やかなお天気の日が増えてきました。春めいた陽気に青空の下、外を歩けば暖かな南風が色とりどりの花々を揺らす光景に春を感じ、気分も軽やかになります。

編集後記